

2015/3/23 小学校4年生へのインタビュー

梶形：4月からの皆さんの成長には驚いています。この授業は哲学ということになっていると思うのですが、この授業のやり方は「子どものための哲学」ということで、子どもと一緒に哲学をするということです。皆さんは最初のころに比べて、議論に集中できるようになってきたということ、他の子の意見を受けて自分の考えを伝えることができるようになってきました。「～さんの意見と似てて」とか、「～さんとは違って」とか、対話が成立するようになってきました。最初のころは発言するのが決まった子が多かったと思いますが、前回なんかは、意見が途切れなくて、次から次へと手を挙げて、多くの子が発言しているのがすごいなと思いました。2年生のクラスにも参加させてもらっていますが、2年生の子どもはどんどん手をあげて自分の意見を言うのですが、自分の意見を言うのが我慢できない。それに対して皆さんは、自分の意見をゆっくりと、ちゃんと述べるができるようになってきているのがすごいなと思います。

今日は是非とも皆さんに授業の感想を聞かせてもらいたいと思っています。いいですか。緊張しないでいいのでね。大きい声で、ゆっくりと話をしてください。

輪になって行う授業は子どもの哲学というのですが、面白かったですか。多くの子が手を挙げてくれていますね。あまり面白くなかったという子はいますか。何人かいますね。

先ず、どういう風に面白かったかということをお自分なりに説明してもらえますか。

A（女子）：みんなでこうやってコミュニティボールを使って、問いを考えて、深く考えることができるようになった。

B（男子）：楽しかったことは、自分も思いつかないような発言とかあって、Aさんが言ったように、いろいろ掘り下げられた。

C（男子）：僕は、BさんやAさんと同じで、問いを掘り下げられて楽しかったのと、みんなの意見とか気持ち分ったりして、ちゃんとコミュニティを作れたことが楽しかった。

D（女子）：普通の授業とかだったら、コミュニティボールを使わないで、先生が、何か、この問いをどう思いますか、とか言って、それで、～さんどうぞとか言って、ずっとそうやっているだけやけど、そんなに進まんけど、このコミュニティボールを使ったら、深く掘れていいと思いました。

梶形：今普通の授業だとコミュニティボールを使わないので、言ったけど。

D：これを使わない場合だったら、先生がいつも当てたりしていて、みんなの意見が自由に聞けないけど、でもこれを使えば、結構進む。

(6分5秒経過)

E（男子）：みんなで考える問いを作って、それで、みんなが本当によく考えて、というか決めて、話しするのが楽しかった。

梶形：自分たちで問いをつくり上げていって、それについて話し合うのが楽しかったということ。

D：この授業は何か、他は先生が問いを作っていくけど、この前は自分たちで問いを作って、自分たちで掘り下げていって、自分たちでできるのが面白い。

(7:30)

F（女子）：楽しかったことは、自分が知らなかったこととかがたくさん分ったりして、自分が思っていたことと違う意見とかが聞けたから楽しかった。

G（女子）：楽しかったのは、問いについて深く考えられたし、他の人たちが意見を言っているときに、新しいことを発見できたから楽しかった。

H（男子）：楽しかったことは、コミュニティボールを使ったら、普段手を挙げない人とかも良く発表するし、考えが思いつかなくても、他の人の意見を聞いたら、すぐに思いついたりするから、そういうことが楽しかった。

I（女子）：普通の授業ではなかなか手が挙げられなくても、このボールを使ったら、人の意見で、「これはどうしたらいいかな」みたいなことを考えられたから、楽しかった。

J（女子）：楽しかったことは、Hさんとか言ったように、普段手を挙げない人とか、このボールを持ったら、何か、人の意見を聞きながら考えていって、だんだん意見がまとまってくるし、意見とかが出てきて、みんなでその問いを考えたから。

C：思ったことやけど、授業中に手を挙げられなかった人とかも、このコミュニティボールをやっている、手を挙げて、（その人の）意見を知ることができたのは、このお蔭だと思う。なぜなら、これは失敗しても、これは自由に話せるから、失敗することがあまりないから、・・・

梶形：ちょっとごめん、失敗するってどういうことかな。

C：例えば、算数とかだったら、問題とかを間違えることがあるから、間違えたりしたら、えーっと、何か、恥ずかしいとか、そういうのがあるけど、これは、そんな問題とかじゃなくて、問いだから、自分の、自分だけの意見をみんなに話せるから、本当の答えというか、自分だけの答えしかないから、自由に話すことができ、そのおかげで、みんな話せるようになったと思う。

梶形：ここでは間違えるということはないんだ、そして自分の意見を変えることもできるし、他の人の意見をすごいなと思うこともできる。

(続けて意見を求めたが、手が挙がらなくなった)

梶形：さっき、それほどとか普通と言ってくれた子がいたね。その子の意見を聞きたいんだけど。

(12分20秒経過)

K (男子)：あまり楽しくなかった。(なぜ?) (かなり考えている) コミュニティボールより授業の方が、ちょっと、めっちゃちょっと、ちょっとだけ、めっちゃちょっとだけ、(みんな笑う)。

L (男子)：普通で、最初にCさんとAさんとかが言ったように、いいところもあるけど、話題、えっと、問いがあんまり発表しにくいような問いだったら、むずかしい。

梶形：自分でなかなか考えられないような問いがあったということね。

A：えっと、思ったことで、・・・このコミュニティボールで問いを考えることが楽しかったという人もいるけど、考えにくい問いだったら、楽しくないとか、普通の授業の方が楽しいとか、そういう考え方の人もいる。

M (女子)：私は話し合いとか問いを考えたりするのはとても楽しかったけど、何か、問いには答えがないとあんまり自分自身では納得いかない。

N (女子)：ボールを作ったりするのは楽しかったし、あとそんなに手をあげない人の意見とかが聞けたのは良かったけど、何というか、私的には授業の方がいい。

梶形：なぜかな？

N：問いだと何か、話し合っているうちに、よく分なくなったりする。

C：Kさんが、ちょっと理由が言いにくかったと思うのだけど、多分Kさんは問いについて参加できていないっていうか、そんな感じで、その問いに答えようと思っても、多分、そういうのが思いつかない。多分意見が思いつかなくて、このコミュニティボールは、意見を出し合ったりすることが楽しいから、だからそれをすることがあまりないから楽しくないんだと思う。

(16分30秒経過)

D：今まであんまり手を挙げなかった人が手をあげたりするのはいいことだけど、でも、自分の意見よりも、算数みたいな計算の答えとか決まった答えが欲しいんだと思う。後、授業は授業だし、こういうのよりも普通の授業の方が、何か、こういうのしていると、分なくなってきたりとかしてきて、途中からちょっと面倒くさくなるっていうか、そんな感じがする。

(少し間ができる)

梶形：今の気持ちはすごく良く分かる。問いをいろいろやっていくうちに、「答えがないんじゃないかなー」ってなってくる。サンタさんの話にしても、サンタさんがいるとかいないとかにしても、サンタさんがいると思う人もいるし、いないと思う人もいる。いると思うときは証拠みたいなものを出したり、いないと思うときにもいろんな意見が出されて、結局どうなんだというような話になってしまっているし、この前の話だったら、先生の方から、思うってことはどうなんだろう、という問いかけが出てきて、いろいろ意見の言える人もいるけど、必ずしもそうでない人もいたわけで、答えが欲しいというような気持ちを持っている人がいるだろうなということも分る。授業では、計算したり調べたりして、答えが出てくれるから、それで納得しやすいから、授業の方がいいんじゃないかなと思っている。みなさんどう思う。答えがなくて、このようにいろいろ議論をしていくのと、普通の授業のように、答えが出てくる方が安心できると言っているけど、それについて意見を何か言えるかな。

A：私は、問いとかやったら、考えやすくて、みんなも意見が出るから、人の意見もいいかなと思って、意見が変わったりもするけど、でも前の、「夢と目標の違いは？」とか、そういうのを聞かれたら、応えにくいから、ちょっと、(首をかしげる)

D：こういう問いだと、答えがないから、何か、どうなるんだろう見たいな感じで終わっちゃったりするけど、算数とかだと自分で解けたら達成感があるとか、そういうことがあるので、やっぱり、だから・・・

梶形：あー、普通の授業だったら、達成感がある、このような授業だったら、そういう気持ちになかなか持てない。

D：分なくて終わっちゃうとか、あと、あの人はあ一言っていたけど、こっちはこう言つてて、どっちなんだろうってなって、終わっちゃったりして、よく分なくなってくる。

N：私もDさんと同じで、こういう、何ていうか、結論とかがないのが、それが納得しなくて、算数とか国語とか、答えがあつたり、問題みたいのだったら、答えがあつたら、達成感があるし、安心もできるけど、これやと、何と言うか、達成感というのがそんなないし、何か、どうなんだろうで終わっている。

(21分25秒経過)

0 (男子)：コミュニティボールは達成感を感じるボールとかじゃなくて、問いを考えるボールと思う。みんなと話し合いをするボールと思う。

P（男子）：僕はDさんと同じで、普通の授業だったら、問題を解いて、答えが分るのが楽しい。僕はそう思うけど、これやったら、考えても答えがないから、その答えがどうなるか、気になるけど、答えがないから、何かあんまり面白くない。

Q（女子）：難しい問題を解いたときは達成感が感じられるけど、このコミュニティボールでは達成感を感じられない。

（22分42秒経過終了）

R（男子）：このコミュニティボールのやつは、自分なりの答えがあるけど、算数とかの場合は、決められた答えしかないから、こっちの方が、自分の答えがあるから、こっちの方がやりやすい。

S（男子）：僕は、Oさんが言っていたけど、これは達成感を感じるものではなくて、みんなと考えを話し合っ、こうなのかなって考えていくのが、コミュニティボールだから、達成感を感じるものではない。

M：Rさんと似てるけど、このコミュニティボールで話す授業は、答えのない問いで話しているから、間違いとかがなくて、自分なりの答えが出る。

T（女子）：RさんとMさんと同じで、これは問いだから、普通の算数とかの授業やったら答えが決められているけど、問いだったら、答えが決められてないから、自分たちで話し合える。

U（女子）：私は答えがある、答えがあるから安心できるとDさんが言っていたから、答えがある問いもいいと思うけど、答えがないから、コミュニティボールで話すことは、答えがないから、自分の考えとかがあるから、いつでも楽しい。

榊形：今、普通の授業とこの授業との違いで、みんなの話では、どっちがどっちだという話になっていると思うけど、たとえば、この授業をしていたら、自分が今まで考えていなかったようなこと、考えを他の人が言ってくれて、自分の考えが深まっていくとか、議論の過程でみんなの考えが深まっていくというようなことはないのかな。仮に、答えがないということがあまりいい印象を与えていないということだけでなく、今言ったように、自分の考えが変わっていったとか、他の人の意見を聞いて議論全体が深まっていったというような、算数などとは違う特徴のようなものについてはどうかな。

P：そこにも書いてあるけど、A-2さんの意見で、はっきりした答えというものがないから、自分一人で答えがあるから、何か、答えが多い。

V（男子）：これは、答えがないから、自分の答えがあるから、その分、自由に話せる。

A：私も似てるけど、自分自身、自分なりの、問いに対して答えがあるし、それに、例えば、問いについてゆっくり考えているときに、発表している人が発表しているから、あまり発表しない人もいいなーと思って、似ているなーと思って、発表しない人も発表していくよ

うになるから、自分自身は大体似ているようでも、発表しない人とかも発表できるから、いいと思う。

梶形：他の授業との関係が今問題になっているので、みんなこの授業をすることで、他の授業を受けるときに態度が変わったとか、アッ、他の子がある授業でこんなことがあったけども、それはひょっとしてこの授業をしているからではないかとか、そんなような発展なり思いを持った子はいるかな。算数の授業にしても、社会科の授業にしても、アッ、これは今までとちょっと違うんじゃないかなーって自分自身の中で感じるとか。・・・私の質問の意味わかる？むずかしい？

C：コミュニティボールは、えっと、B-2さんの名言で、コミュニティは言葉を伝えたり、自分の意見を自由に話せたりすることだけど、でも算数は自由じゃなくて決められたことしかないから・・・

梶形：算数なんかでも、何か問題があった場合に、その問題を解くときに、解き方というのはたった一つしかないかな。それともいろんなとき方があると思う？ 仮に答えは同じだとしてもね。

D：算数でもこの授業でも、式でも問いでも根本のところから探し出せば、見つかるかもしれないし、方法とかは違ってても答えがある場合があるから、方法はいくらでもあると思う。

M：この授業をやる前は、算数の問題とかを分らないところはすぐ飛ばしたりしてたけど、この授業をして、答えのない問いとか、問いに答えがないというのが、答えが繋がらないかもしれへんけど、何かヒントになる問題とかが、ちょっと、この話をする前よりは深く考えるようになった。

(31分30秒経過)

(1時限目終わり：休憩)

梶形：何か、みんなに緊張を強いているようだけど、一応インタビューということなので、理解してもらいたいですけど、今他の授業との関係が問題になって、それぞれ皆さんに意見を言ってもらったんだけど、例えば、その中にもあったけど、他の人の意見を聞いて良かったとか、普段話ができない子もこの授業ではボールを持つことによって、発言できるようになったのが良かったと言ってくれたけど、この授業をすることによってかどうかが良く分からないかもしれないけど、あえて聞かせて欲しいんだけど、この授業をやることによって、普段のみんなの友達との関係なんかに変化があったとか、アッ、今こういう風

になっているのは、この授業をやっているからではないかっていうような、そういうことで気が付いたことはないかな。例えば、3年生のころ全く知らない子がいたと思うんだけど、そういう子たちと新しい関係を作っていく中で、この授業が役に立ったとか、この授業をしたんでこうなったとか、そういうような何か発見なりはないですか。ちょっと難しい？

A：コミュニティボールを使う時間が終わって、休憩の時間とかで、友だちにさっきのことはどう思うとか聞いて、いいなと思う問いとかもあるし、逆の意見とか反対の意見などで、何でそう思うのとか理由を聞いたりして、その人の思っていることなどとかも聞いている。

W（女子）：Aさんと似てるけど、3人のグループになって、自分の意見を言ってから、3人のグループの一人が言って、自分の意見が変わったりして、友だちの意見を、言ったおかげで、あたらしい自分の考えていることとかができたから、それは良かったと思う。

（担任の先生が助け舟を出してくれる）遊びとか掃除とか、毎日クラスで生活している中で、何かそんな感じていることはある？

O：3年の頃、C-2さんと同じクラスやったけど、あんまり仲が良くなかった時があって、でも4年生になったら、コミュニティボールのせいか分らんけど、よく話せるようになって、友だちになった。

（3分30秒経過）

D：多分だけど、このコミュニティボールによって、給食の時間のときとかに、あんまり話に入っていないで、決まった人だけが話したりとかあって、その人がまったく話に入れなかったりとか、前はしたけど、でも何か、その人も話に入ってきたりとかして、話がみんなできるようになった。

（担任の先生が助け舟を出してくれる）今のDさんの言ったことなんか、そうやなって思っていることある。

A：前の前の班で、D-2さんのことで、E-2さんとかから聞いたら、3年のときはすごく静かで給食も食べるのが早くて、食べた後静かに待ってたけど、前の前の班のときは、話に入ってきてみんなを笑わせてくれて、多分それはコミュニティボールでも何回か手をあげていたから、そのことかなーって思う。

N：前のクラスとかでは、そんなに話に入らんと聞くだけで終わってた子とかあったけど、これやったら、何か、話には全然入れないで聞くだけで終わった子とかあったけど、2学期3学期となったら、みんな話せるようになった。

C：僕は、C-2さんとかF-2さんとか、いろいろな人がよく発表するようになったと思って、Aさんと同じで、このコミュニティボールのせいかは分らんけど、F-2さんとかは前だった

ら、理科とかでしか発表しなかったけど、でも、算数とか国語とか、それと社会でよく発表するようになったり、C-2さんも最初は全然発表しなかったけど、だんだん慣れてきて発表するようになったりして、いろんな人が発表するようになったと思う。

(6分30秒経過)

C-2: 私は3年生のときはあまり手を挙げなかったけど、だんだん友だちの話を聴いて、・・・今はコミュニティボールを使って、何か、何か、成長したみたいな感じ。(話すときは常にボールをジャググルしている)

梶形：他にない？

教師： 今日、体育してても、みんなで作戦会議していて、3年生の頃よりは、うまく話ができるようになったのとちゃうの？そんなん、感じない？みんなで楽しく今日も体育したけど。揉めることなくできるやん。昔はもう少し言い合って喧嘩していたのとちゃうん？

O: ちょっと思ったことで、ラインポートボールとかをやるには仲間とかの絆が大切と思う。

(8分35秒経過)

R: 学級会のときでも、何か、みんな遊びとかができる。3年生とかやったら、何か、言い合いみたいとかになって、いつも先生とかに止められていたけど、コミュニティボールを使うことによって、話し合いでもちゃんとまとめるようになった。

C: コミュニティボールをやって、(少し考える) コミュニティボールを最初にやったころは、全然手が挙がらんかったり、体育の感じとかも文句とかが多かったですけど、コミュニティボールをやっていって、いろんなことができるようになって、いろんな意見を出すようになってきたと思う。

O: Cさんと同じで、コミュニティボールを一つ学んだことで、3個ぐらいいろんなことがみんなのできるようになったと思う。

(10分30秒経過)

A: さっきの体育のラインポートボールで、誰が行くよって言って、誰々さん行ったら、Fさんが、誰々さんは何々だから駄目だと思うよと言ってくれたけど、3年生のときやったら、誰々さん行ったらって言ったら、何で行かなあかんのとか言って、揉めたこともあったけど、4年生になったら、ちゃんと話し合いで、じゃんけんとかでなく話し合いでちゃんと決めれたことがいいことだと思う。

Y: 1年生から3年生までは、決めることはほとんどじゃんけんで決めてたけど、この話し合いをすることによって、みんなそれぞれの意見が言えるようになってきたから、決めることもちゃんと意見を言えるようになった。

N：3年のときは、体育をやるとき、作戦会議とかで誰かが威張ったりして、全部一人でやっていたけど、今も時々威張ったりする人がいるけど、3年のころよりは減ったかなと思う。

D：ラインポートボールで、ずっと前は、仲良しの人にばっかし回したりとか、うまい人ばかりに回して、何か、その人たちだけでやってるみたいな感じで、そんなに慣れてなくて苦手な人とかは、何か、仲間外れみたいになって、そんなに参加できてなかったけど、最近とかは、そういう人たちにもパスしてあげて、みんなで作っている感じがすると思いました。

(12分50秒経過)

担任：実は僕もDさんと同じように思ってるわ。みんなでうまくパスが回せるようになったなって見てたで、今日も。みんなはどう思う。

C：僕も、何か、この話を聴いて、昨日、にいちゃんが体育でバスケをやって、それで強い人だけがずっと入れてて、あまり面白くなかったとか、そんな感じで言っていたけど、でも、何か、にいちゃんたちとは違って、僕たちはチームワークでやっている、そんな感じがしている。

榊形：えーっと、今、皆さんの発言を聞いて、私も非常にうれしいと思います。実は、このボールを使ってやる授業は、実はそういうことを狙っているんですよ。非常に大きな隠れた、たゞこういう風にやるんじゃないで、こういうことによって、みんなのいろいろな思いとか、他の人の意見がよく分るようになるとか、他の人に対して、このボールをあまり話をする事ができなかった人に対しても渡してあげて、発言の機会を持てるようにしてあげるとか、話し合いをするとか、そういうことを、実は、このコミュニティボールを使った授業は狙っているんです。問いを出して、その問いについていろいろ議論をすることによって、今言ったような態度が生まれてくるのだっていうことなんですよ。もう一つ、こういうことをすることによって、何でそうなるのかっていうことを、いつも考えて、自分がある行動を取ったり、意見を述べたときに、何故なんだろうという風に思ってくると、会話もうまく行くということなんですが、皆さんそういうことを言ってくれたんで、私としては非常にうれしいなと思います。

ちょっと言いにくいことなんだけど、あえて聞くけど、この授業をすることによってだと私は思って欲しいんだけど、みんな、お父さんお母さんと会話がひよっとしたら弾むようになったか、弾まないようになったか、あるいは、お父さんお母さんから、おまえちょっと変わったんと違うか、お前最近しつこいなーとか、何か、そういうような形で、今までとはちょっと違う形で、お父さんお母さんと、あるいはおじいちゃんおばあちゃんと、会話ができるようになってるんじゃないか、あるいは文句を言われるようになってきているんじゃないかとか、そういうことでいいので、何かあったら言ってもらいたいんだけど。

(16分5秒経過)

O：何か、4年生になったら、お母さんとかに、学校でこういうことがあったんだよみたいなことを言うようになった。

C：えーと、4年生になって、お母さんにしゃべろうとしたら、しゃべろうと思う言葉が多すぎて、怒られるようになってきた。

Y：何か、ときどき、お母さんとかおばあちゃんとか、周りの人に、無視されるときがあって、それは何か、しゃべり過ぎなのかなって思ったりする。

M：何か、お父さんとかお母さんに怒られたりしたときには、昔やったら、怒られて、はいはいとか、すぐにやってたけど、4年生とかこういう話をして、言い訳とかするようになった。

G：4年生になって、3年生のころはいろいろとお母さんと普通に話してたけど、4年生になって、お父さんとお母さんとしゃべるときに、いつも最後にしつこくなつたねって言われる。

E-2：4年生になって、その日の出来事とかをお母さんに言うようになったし、言われてもすらすらと応えられるというか、結構言えるようになった。

C-2：この話し合いをして、お家での大人の話に、何か、最近、あの、お母さんのお姉ちゃんとかが時々遊びに来て、大人の話をしているときに、ちょっと話に入れたから、何か、進歩したなーと思う。

A：テレビを見ていたりしたら、何か、不思議なことがあって、・・・どんどん話が変わって行って、・・・最後に、これやったらなんぼでも話ができるねって。

(19分18秒経過)

N：お父さんが帰ってきて、お父さんがビール飲んで、いろいろやっているときに、私が学校でいらついたことを全部お父さんにおちまけて、で、何かお父さんに、あーだこーだ言われたら、お父さんにいらついたこともおちまけて、3年のときはそんなことはなかったけど、何か話がスラスラスラ気がついたことを言っている。

D：前までは、おばあちゃんとかのところに行って、たまにしか行かないから、一番最初にあった時は、緊張したりとか、いろいろしたけど、今では、会ってすぐに、話したりとか、そんなに緊張しなくなった。

C-2：私はちょっと違うけど、参観日のときに、昔、3年生か2年生の時に、参観日のときに私は手を挙げて言おうとしたら忘れちゃった、4年生になってやっと手をあげて、当てられたら、普通に言えるようになったから、お母さんにうれしい、すごい進歩したねと言われた。

A：Dさんと一緒に、おばあちゃんちに一年に一度くらい行ってたら、小チャイときやったら、恥ずかしかったりとか、会うのは久しぶりやし、・・・緊張もするから、お母さんの

背中に隠れていたりとか、炬燵の中に丸くなって入ってたりもしたけど、最近、えっと、今年、お正月に会いに行ったら、いっぱい喋れて、すごい楽しかった。

Q：おばあちゃんの方は妹に取られて全然話ができないけど、ばーばの方はみんなが話をしていたら私もは入れて、たまに妹に取られるけど話ができるようになった。

(22分10秒経過)

Z (男子)：Aさんが言ってたけど、僕も、1年に何回も行くけど、Aさんみたいに、行ったら恥ずかしくて、隠れたりしてて、ウサギの後ろに隠れたりとか、でも、今は行ったらすぐに話せるようになった。

N：昔から、一人ではできるけど、人前でやることは苦手で、USJとか行った時に、ショーでキャストに誘われたときに号泣したこともあったから、これやったら（コミュニティボールをやったら）、何か、少しやったら、誘われて、今やったら、ショーに誘われて、ちょっと恥ずかしいけど、ちゃんとできると思う。

O：3年生の頃USJに行って、ウォーターワールド？で水掛けられるときなんて、行きたかったけど、恥ずかしいから、しり込みして、今度4年生になったら、ウォーターワールド？で、何か、恥ずかしくならなくなった。

N：Oさんと同じで、私もUSJでウォーターワールドでバケツ一杯汲んだ水を頭からかけられるけど、夏はお母さんとかが全然行けよとか言ってくれるけど、冬とかに行きたいとか言ったら、絶対ダメと言われて、えーって言ったら、お母さんとかが、じゃー、何でショーとかは出ないのってと言われて、恥ずかしいからって言ったら、じゃこれも恥ずかしいのじゃないのってと言われて、何か・・・。

K：Oさんに質問だけど、何が恥ずかしいんですか。

O：いろんな人から見られるから、何かちょっと、恥ずかしい。

C：僕は、2年生とかじゃなくて、3年生はOさんとかと同じで、恥ずかしいことができなくて、みんなに注目されるのが、ちょっと恥ずかしいから、あんまりできなかったけど、やってみたら、意外と、何か、別に恥ずかしくもないところが出てきて、何か、それから、4年生とか意見がもっと出るようになってきた。

榊形：もう最後だということで、一つだけ聞きたいことがあるんだけど、こういうことについて、みんなて話をしてみたいというような問いはないかな。

C-2：なんで人間は成長するにつれて挑戦とかするのか、前はできなかったようなこと挑戦するのか。

榊形：他には？ 例えば、いろいろ悩んでいることも、実はみんなが悩んでいるかもしれないし、そういうことについて話をしてみるといろんな意見が出るんじゃないかな。

D：みんなは、お兄ちゃんとかお姉ちゃんとかいるけど、そういうので、頭にきていることとか、今は一人っ子だけど、妹が欲しいとか、それで、欲しい理由とか、何かそんなことについて話し合ったら面白いかなって。

梶形：なかなか言えないようですね。これからは、何か不思議だなんて思うようなことがあったら是非ともみんなで話し合っしてほしいと思います。また自分を表現するということが、自分の話を聞いてもらいたいというような気持ちを持つということはすごく大事だし、また他の人の意見も聞きたい、あの子はどう思っているんだろうって思うことは、ものすごく大事なことになるので、そういう思いをずっと持ってほしいと思います。

自己評価

1. 共同体の仲間として私たちの行動はどうだったか？

① あなたは友だちの話をどれくらい聞きましたか？

(他の人が話をしているとき、あなたは話を聞いていましたか。)

聞けなかった		わりと聞けた		よく聞けた
1	2	3	4	5

② コミュニティはよく聞けていましたか？

(あなた話が話をしているとき、他の人はあなたの話を聞いていましたか。)

聞けなかった		わりと聞けた		よく聞けた
1	2	3	4	5

③ あなたは参加していましたか？(あなたが話す機会がありましたか。話していないとしたら、今日のテーマについて考えていましたか。)

参加できなかった		わりと参加できた		よく参加した
1	2	3	4	5

④ あなたにとって安全な場でしたか？

(自分の話が話しやすかったか。気持ちよく話すことができたか。)

安全な場でなかった		わりと安全な場だった		安全な場だった
1	2	3	4	5

2. 私たちの探求はどうでしたか？

⑤ 私たちは対話に集中していましたか？

集中できなかった		わりと集中できた		よく集中できた
1	2	3	4	5

⑥ 私たちはテーマを掘り下げていたでしょうか？

掘り下げられなかった		わりと掘り下げられた		よく掘り下げられた
1	2	3	4	5

⑦ あなたは何か新しいことを発見できましたか？

発見できなかった		わりと発見できた		たくさん発見できた
1	2	3	4	5

⑧ あなたは自分自身の思考に挑戦し、頭を働かせましたか？

働かせなかった		わりと働かせた		よく働かせた
1	2	3	4	5

⑨ 他の人と探求することは興味深く、楽しかったですか？

楽しくなかった		わりと楽しかった		とても楽しかった
1	2	3	4	5

各児童の自己評価点

- ① 5, 2, 2, 3, 3, 4, 2, 4, 5, 4, 2, 5, 3, 4, 4, 4, 4, 5, 3, 5, 4, 5, 5, 4, 4, 4, 4, 3, 5, 5, 4, 5
 ② 5, 3, 3, 4, 3, 1, 5, 1, 5, 4, 3, 5, 3, 3, 4, 5, 4, 2, 2, 4, 3, 5, 5, 4, 5, 4, 3, 2, 3, 4, 5, 3
 ③ 5, 1, 3, 4, 3, 1, 2, 4, 5, 4, 2, 5, 3, 4, 5, 5, 5, 3, 2, 4, 4, 5, 5, 4, 5, 4, 2, 3, 5, 5, 5, 4
 ④ 5, 1, 2, 5, 3, 1, 5, 1, 5, 4, 3, 5, 3, 4, 2(4?), 4, 3, 5, 2, 4, 3, 5, 5, 4, 5, 4, 4, 3, 4, 5, 4, 2
 ⑤ 5, 1, 3, 3, 3, 5, 2, 4, 5, 4, 2, 5, 3, 5, 4, 5, 5, 5, 3, 4, 3, 5, 5, 4, 4, 4, 3, 2, 4, 5, 3, 2
 ⑥ 5, 1, 3, 4, 3, 5, 5, 4, 5, 4, 2, 5, 3, 5, 4, 4, 5, 5, 4, 4, 4, 4, 5, 5, 4, 3, 2, 5, 5, 3, 3
 ⑦ 5, 1, 2, 3, 3, 5, 2, 2, 5, 4, 1, 5, 3, 1, 5, 4, 2, 5, 1, 4, 4, 5, 5, 4, 3, 3, 1, 3, 5, 5, 4, 3
 ⑧ 5, 1, 3, 4, 3, 5, 4, 1, 5, 4, 2, 5, 3, 5, 5, 5, 2, 5, 2, 4, 3, 5, 4, 5, 3, 3, 3, 3, 5, 5, 3, 5
 ⑨ 4, 1, 2, 4, 3, 5, 5, 5, 5, 4, 1, 5, 3, 5, 3, 4, 2, 5, 2, 5, 4, 5, 5, 4, 3, 4, 5, 4, 5, 5, 3, 4

- ① 5=10名、4=13名、3=5名、2=4名、1=0名 /32名
 ② 5=9名、4=8名、3=10名、2=3名、1=2名
 ③ 5=12名、4=9名、3=5名、2=4名、1=2名
 ④ 5=10名、4=9(10?)名、3=6名、2=4(3?)名、1=3名
 ⑤ 5=11名、4=8名、3=8名、2=4名、1=1名
 ⑥ 5=12名、4=11名、3=6名、2=2名、1=1名
 ⑦ 5=10名、4=6名、3=7名、2=4名、1=5名
 ⑧ 5=13名、4=5名、3=9名、2=3名、1=2名
 ⑨ 5=13名、4=9名、3=5名、2=3名、1=2名
 5=100名、4=78名、3=61名、2=31名、1=18名 /288名
 35% 27% 21% 11% 6%
 62%
 83%

3. 名言を話した友だち、探求を深める発言をした友だちを3人見つけよう。

C:F-2さんは理科でしか発表できなかったけど、他の教科でも発表するようになった。

(3人)

C: 算数の答えは決められているけど、このコミュニティボールを使って話をすると、
 答えが自分の答えしかないの、自由に話せる。(3)

C: コミュニティボールは失敗しない。

C: 算数の問題をといて、合っていると達成感はあるが、コミュニティボールは答えが
 ないから達成感がない。(3)

C: 良く発言していた

N: 3年生になって威張る人がいなくなった。(4人)

D: 体育ではあまりパスが回らない人にもパスが回るようになった(5人)

D: 昔よりけんかなどせず、まとまって試合ができた。(2)

A：D-2さんが3年のときはおとなしかったけど、コミュニティボールの話し合いをしていっぱい話せるようになった。(4)

A：コミュニティボールを使って話すことで、話が深く掘れるのが楽しい。

A：コミュニティをして友だちと「どう思う」とか話すようになった。良く発言していた。(2)

A：とてもいい発言をしていた。(2)

B：コミュニティボールは答えがないからおもしろい。(2)

O：コミュニティボールは達成感を感じるものではない。(3)

O：三年生の時はちゅうもくされるのが、はずかしかったけれど、四年生ははずかしくなくなってきた。(5)

K：ふつうのじゅぎょうのほうがちょっと楽しい。(D-2。この子はこの授業にはなかなかはいれない様子だった。ただ、反対意見や質問をよくするようになっていた。本人も最初の時と比べて、今はかなりはなせるようになってよかったと言っている。)

名言を発したと思われた児童の数は限られているが、そう思ったことで、P4Cに参加していることを示すと同時に、児童たちが授業に対してどのような共通イメージを持っているかが明らかになってくる。

4. 今日の対話をふりかえって、思いつくことを書いてみよう。

- ・いつもよりも考えることが難しかった。でも少しは掘り下げられた。
- ・今日は難しかった。みんなの意見には賛成のものも反対のものもあった。みんなの考えは難しかった。
- ・インタビューされてこたえるのがむずかしかった。
- ・みんな発表していた。
- ・良く発言していた。
- ・楽しかった。(この子はこの授業に対して最初は消極的な意見を述べていた)
- ・ぼくは今回はとても楽しかった。意見がとてもいいやすい問いなので、自分だけの答えをいっぱい見つけることができた。
- ・G-2さんとG-3さんがいなくて、いつもより掘れなかった。
- ・家でお父さんお母さんと話す機会が多くなったのは、コミュニティボールのせいだと思う。
- ・この勉強をする前は、お母さんと全然話をしていなかったけど、この勉強をしたらお母さんと1日の出来事をたくさん話すようになった。
- ・4年生になってお母さんに毎日、その日の出来事や話されてもすらすらこたえられるようになって友達にもたくさん話を話せるようになった。

- ・あまり発表していないC-2さんが発表していて、みんなよく発表するなと思った。
- ・あまり手をあげないFさんや、C-2さんもOさんに質問していました。そういうのがコミュニティだと私的には思いました。
- ・好きな教科でしか手をあげていなかった子が、この授業では手を挙げている。
- ・いつも授業で手をなかなかあげない人でもボールを使うことによって人の話を聞き、発表できるようになる。
- ・コミュニティボールのせいか分らないけど、1学期に発言しなかった人が今は発言し、みんなで会話できるようになった。
- ・コミュニティボールはみんなで話し合うのに便利だなあと思いました。
- ・一年間を通してという話題で話をしたら、なぜかみんなあまり手をあげなくて、僕が思うのは、コミュニティボールを使うと自然と意見が出てくる。
- ・体育で、パスをもらえなかった人がいたけど、今はその人もパスをもらえるようになった。
- ・みんなとなかよくできるようになった。
- ・算数だったら、答えが一つしかなくて、その答えがあっていたら、そこでその問題はおわりだけど、このコミュニティボールを使った話は、答えがたくさんあるから、みんなが言える。(算数だったら、たくさんの人が手をあげても、1~4人ぐらいしか、一つの問題に答えられない。)
- ・ふつうの授業だと1人があてられて、答えがあっていたら、その問題はおしまいだけど、総合の話し合いは自分の思っていることを自由に言えるところが違う。
- ・この話し合いは、算数や国語の答えがある問題ではなくて、答えはわからないけど、自分達で意見を出し合っていく話し合いだと感じました。
- ・わたしは、算数みたいに答えがあってもたのしいけど、答えのないといのほうが自由にかんがえたり自分だけのいけんをいえるからいいと思う。
- ・私は、授業とコミュニティボールのちがいは、授業はいろいろ問いがあってそれは、全部答えがある。だけど、コミュニティボールは、自分のそうぞうと考えで言うから、みんなの答えがよくきける。
- ・授業は決まったこたえだけど、問いは自分なりのこたえがある。
- ・この授業は達成感を感じるためにやっているのではないと思いました。
- ・昔よりも大人の話に入って行けたり、わかってきたりした。
- ・人と交われるようになってきた。
- ・たくさん発表できるようになった。
- ・最初の時と比べて、今はかなりはなせるようになってよかった。
- ・初めはあまり発言がいきなくて、ただ聞いていただけだけど、今はみんなと深くほれて良かったと思った。

- ・3年生とか4年の最初のころは、発表がぜんぜんできなかつたり、消極的だったところが多かったけれど、4年生になると、前よりはかなり発表できるようになったし、積極的に行動できるようになってコミュニティボールのおかげかなーと思った。
- ・私は3年生の時、恥ずかしくて話せなかつたけど、このコミュニティの話し合いで、すごく自分の意見をしっかり話せるようになってうれしかったです。
- ・3年生のころは、何か命令されると、理由も言わずに、「なんでやらないとあかんの」と言っていたけど、今は「なんでやらないとあかんの、理由を教えて」と言えるようになった。
- ・私がコミュニティボールをしていて楽しかった事は、問いについて深く考えられたし、他の人たちが話していて自分とはちがう意見があつて自分が知らない新しい事を発見できた。
- ・これを通して、こういう話をする、どんな効果があつたのかという事がわかります。
- ・私は最後にコミュニティボールの力はすごいということに気がつきました。
- ・この話を楽しいと思つていく分、言葉に成長がでてくると思います。
- ・コミュニティボールは人の意見を聞いて自分の思つていることを言える。
- ・上手に（うまく）言えなくても他の人が助けてカバーしてくれる。
- ・答え（問い）を考えるのがコミュニティ。
- ・インタビューを受けて、この総合の時間は、いいこともたくさんあるけど、あまり、「すごく楽しい」という意見にはなれませんでした。理由は、この総合には「自分だけの答え」や「自由」といった良さがありますが、私は、そういうことより、「決まった答え」などの方が、達成したという感じがするのです。
- ・疑問？私は最近、お母さんにはんこうしてしまうので、みんなはそんなことあるのかなあと、思いました。
- ・僕的には成長したことはない。

-
- ・答えが分つた時の達成感とこの授業での達成感とは違うということを理解してもらいたい。
 - ・全体としては議論に集中していたと感じても、自分はそれほどでなかつた、という子もいる。
 - ・なぜこの授業をするのか、この授業のねらいは何かということに対する反省を子どもたちに促すのがこのインタビューの目的の一つ。

- ・「たくさん話をしていた」「とてもいい発言をしていた」「〇さんの発言はすごいと思った」という形での他者評価ができるようになっている。全体として評価の低かった子も、友だちに対してこの評価をしており、みんな発言していたという評価をしている。